

たくさんさんの思い出を胸に

市内の各所で修了式・卒業式

春は出会いと別れの季節。市内の各所では修了式、卒業式が行われました。子どもたちは、たくさんさんの思い出を胸にこれまで過ごした学び舎を巣立ち、新たなステージへと飛び立ちました。

3月17日には谷和原幼稚園（石塚眞典園長）で修了式が行われ、48人が幼稚園から小学校へと巣立っていきました。

園児たちは、石塚園長から修了証を受け取ると、保護者の方に「ありがとう」と感謝の言葉を掛け、修了証を手渡しました。保護者の方は、子どもたちの成長した姿を目の前にし、胸を詰まらせ、ハンカチで涙をぬぐっていました。

卒業生たちは、酒井校長から卒業証書を手渡された後、「この6年間で助け合いの大切さ・努力することの大切さを学びました」など、一人ひとりが小学校生活での思い出やこれからの目標を述べました。

学校給食配送車に

子どもたちの絵を

市では、4月から新しくした学校給食配

送車のポスターに、各小学校から募集し、選考された40人の給食ポスターを貼り付け、配送を開始しました。



▷修了証を受け取る園児



学校給食配送車のポスターを描いた皆さんを紹介します。

- 小張小学校：飯島大貴さん（1年）、岡本学士さん（同）、中村浩起さん（同）、大山雪斗さん（同）、初見知佳さん（同）、宮城青空さん（3年）、重永舞香さん（6年）、吉田有希さん（同）
- 谷井田小学校：木村瑞穂さん（1年）、小島美潤さん（4年）、吉田匠さん（6年）
- 豊小学校：木澤優花さん（5年）、成田優菜さん（同）
- 三島小学校：坂本美羽さん（3年）、峰風花さん（同）、佐藤大翔さん（4年）、福島麻衣さん（同）、織屋里佳子さん（5年）



世界の子どもたちのために

谷和原中で福祉活動

谷和原中学校（高橋秀光校長）では、3年間にわたり集めた、ペットボトルのキャップをNPO法人エコキャップ推進協会へ送りました。

この活動は、ペットボトルのキャップを外して集め、再資源化することでCO2を削減し、キャップの再資源化で得た売却益をもって発展途上国の子ども

たちにワケチンを送るものです。谷和原中学校では、約6万個を集め75人分のポリオワクチンを送ることができました。

3年間福祉委員を務めた、直井達也さん、猪瀬悠樹さん、海老原彩香さんたちは、「自分たちが現地に行つて助けることはできないが、この活動をするこ

とで、一つでも多くの命を助けられたらうれしい。一人の命の重さ・大切さが分かった」と話してくれました。また、土屋千恵子先生は「子どもたちの意識が変わった。福祉に対する気持ち、協力することの大切さを学ぶことができた」と話してくれました。

- 板橋小学校：石島美奈海さん（2年）、岩瀬恵人さん（3年）、長岡直希さん（同）、堀川未来さん（同）、八月朔日雄樹さん（同）、斉藤海音さん（同）、石垣来見さん（4年）、木村夏星さん（同）、山本碧さん（同）、富山真希さん（同）、吉田隼さん（同）、下田雪葉さん（6年）
- 東小：中山起希さん（1年）、曾我尾星那さん（2年）
- 福岡小学校：飯泉翼さん（1年）、中島萌々子さん（4年）
- 十和小学校：磯部風沙さん（5年）、入江彩奈さん（同）
- 谷原小学校：福田沙也加さん（3年）、豊島礼菜さん（同）
- 小絹小学校：鈴木陽さん（1年）、岩佐優花さん（5年）



福祉委員の皆さんと集められたキャップ